

日本人の心のあり方を考える「薬師寺まほろば塾」(法相宗大本山薬師寺・読売新聞社主催)の山口塾が11月24日、山口県下関市の市民会館で開かれた。10月に塾長に就任した大谷徹瑛・薬師寺副住職が法話を行い、大相撲の元小結・舞の海秀平さんが「決してあきらめない」の演題で、角界入りを決意したきっかけや苦勞話などを披露した。2人の対談もあり、約2000人が聴き入った。

舞の海秀平さん 大相撲解説者

講演

私は本日は大学を卒業後、高校で社会科教師をすることになっていました。でも卒業の2か月前、相撲部の後輩が突然亡くなりました。人間は毎日、死と隣り合わせで生きているのか



角界入り 試された覚悟

まいのつみ・しゅうへい 1988年、青森県生まれ。日本大卒業後、90年に羽海親方の部屋に入門。1歳半の小柄な体格から数々の技を繰り出し、「技のデパート」の愛称で人気を集めた。最高位は小結。99年の引退後は大相撲解説者やスポーツキャスターなどを務めている。

の山、出羽海親方の部屋でした。しかし春場所直前の新弟子検査は不合格。失意のどん底で、何とかしてやるものだと思つて親方のところに行くところ、落ちたかどうかわからず、誰にも告げずに東京に帰りました。

次の検査は2か月後。何とかしなくてはと美容外科に行くところ、頭にシリコンを入れてみないかと言われ、後頭部の皮をはがしてゴムのようなパックを入れ、注射器で生理食塩水を注入します。痛くて苦しかったです。2度目の検査で合格できました。

でも、どうしても納得がいかない。親方はどうして根回しをしてくれなかったのか。聞いてみると、「本当にその体でやる気がある

挑戦 後悔なし

法話

世界を見渡せば、紛争や貧困、災害、たくさんの不幸があります。きょう私たちが平和と安全をいいただき、学びの場を与えられたことを感謝しましょう。

さて皆さん、目の前に手を出してください。この手を動かすことができるのは、自分だけ。これがきょうの話の芯です。ここに

「この水槽赤くないか？」と気付きます。それが心の質が変わった時です。自分の価値観だけを振り回さず、いろんな生き方を体験することで、心の訓練をしていくことが大切です。私たちは自分で見たこと、聞いたことが絶対だと突っ張ってしまう。皆さんが一生懸命育てた心が間違

大谷徹瑛・塾長 薬師寺副住職



絶対ではないと学ぶために人の話を聞くのです。般若心経というお経は物語になっています。主人公は「観自在菩薩」。「自分の在りようをよく観ろ」と書きます。私たちには五感という外側を観察するアンテナはあるけれど、自分の方に向けたアンテナはありません。その見えない自分が人生を大きく動かしている。だから「観自在」なんです。皆さんには生活の中に自分の心を見つめる時間を取ってほしいと思います。

他人の経験聞き、学ぶ

世の安寧 祈り法要

法話や講演に先だって、会場では世界平和を祈願する法要が営まれた。写真上。舞台には、薬師寺の本尊・薬師如来坐像と日光・月光両菩薩立像(いずれも国宝)を写した掛け軸が掲げられ、大谷塾長ら僧侶2人が、紛争の終結や被災地の復興、犠牲者の冥福などを祈り、参加者も手を合わせた。

対談

舞の海 相撲界でも何とかはいるのをやめた時は(教師に)東京まで説得に来ました。母親が泣いているのを見た時は、「関取になれなかったら親不孝だな」と思いました。大谷 お父さんはどうだったんですか？ 舞の海 父親はとにかく一生懸命打ち込めるんだっただけです。大谷 自分で夢を探して覚悟している人は強いですね。

薬師寺まほろば塾に協賛しています(順不同)

＜近畿＞
岩谷産業
パナソニックホールディングス
サントリーホールディングス
近鉄百貨店
大阪シティ信用金庫
岩谷瓦斯
キンセイマテック
新コスモス電機
イットアップホールディングス
ワコールホールディングス
今日庵
小山
佐藤木材
＜中部＞
トヨタ自動車
東海旅客鉄道
東海理研

＜関東＞
ウェルリンク
ヒノキ新薬
エヌエスティ・グローバリスト
遠州茶道宗家
クオールホールディングス
セントラル石油瓦斯
サティスファクトリー
ネクストソリューションズ
山田合同事務所
＜九州＞
はせがわ
＜中国＞
合人社グループ
ダスキン福山
＜東北＞
熊谷電気
岡山建設

*会員募集

「薬師寺まほろば塾推進の会」は会員を募集しています。年会費(1口)は個人6000円、法人30万円。会員には薬師寺や各地で開かれるまほろば塾への優先申し込み、原則無料参加など、法人会員は研修・記念行事への講師派遣、薬師寺での旅行や研修の支援といった特典がある。

*次回は「奈良塾」

奈良塾を来年2月15日午後1時から、奈良市の薬師寺で開催。法話に続いて、元外務省事務次官の森中三十二さんが「トラン

プ時代の混沌(こんとん)とした世界—今こそ、平和を熱く語ろう—」の演題で語り、大谷塾長と対談する。参加費3000円(推進の会会員は無料)。

*月例奈良まほろば塾、定例東京塾

大谷塾長が法話を行い、ゲスト講師による講演と対談もある。参加費は奈良が1000円、東京2000円(推進の会会員はいつでも無料)。午後1時開講。今後の日程、講師は以下の通り。
◇奈良▽来年1月18日＝篠笛(しのぶえ)奏者、作曲家・佐藤和哉さん▽同3月15日＝南都楽所

*出張講座

薬師寺まほろば塾は、東京、大阪、神戸、和歌山で「法話とお写経の会」を開催している。大谷塾長による法話を聴き、写経に取り組む。参加費は東京4000円、そのほかは3500円(推進の会会員はいつでも納経料2000円のみ)。日程は以下の通り。受け付け開始は午後1時(和歌山

は午後1時10分)。
【東京】フロントプレイス日本橋10階(東京都中央区)▽来年2月27日、4月17日、6月23日
【大阪】読売大阪ビル地下1階「ギャラリーよみうり」(大阪市北区)▽来年3月2日
【神戸】よみうり神戸ホール(神戸市中央区)▽来年3月3日
【和歌山】和歌山県民文化会館(和歌山市)▽来年2月2日
◇
推進の会、まほろば塾の問い合わせは事務局(0742・33・8942)へ。